

## 総合戦略政策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
基本的方向	<p>二宮町人口ビジョンを実現するためには町外への転出を抑制するとともに、子育て家庭を中心とした転入を促進する等、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出することが求められます。</p> <p>より多くの人々に「住んで良かった」と実感してもらうため、子育て家庭をはじめ、町内外問わず幅広い人々に対し、町の良さを活かした新しい暮らし方を提案・発信するとともに、定住希望者の希望を叶える環境をつくることを、二宮町総合戦略の第2の基本目標とします。</p> <p>そのため、町の自然・教育・文化・観光等を活かした特色ある取り組みを推進し、効果的なプロモーションを行います。</p> <p>定住促進のためには定住希望者のニーズに対応する住宅供給が求められます。そのため、空き家等の既存ストックを有効活用した定住支援を行います。</p>

### 数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
二宮町の人口	28,479人				27,168人以上	
二宮町の社会移動数	転出超過 213人				転出超過 58人以下	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」を達成するために設定した3つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>多様な世代から、この町が選ばれ、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出するためには、子育てや教育等の環境づくりに努めるとともに、この町が持つ魅力を掘り下げ、それらを磨き上げることで、他にはないこの町ならではの魅力を、町内外問わず、幅広く発信していくことが必要である。今後は、これまで以上に各施策の連携を意識しながら、創意工夫による効果的な事業展開により、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調ではあるが、さらなる推進のためには、打つべき方策が他にもあり、一部、施策を改善する必要があると考える。</p> <p>この町の定住人口を増やすための新たな「人の流れ」を創出するには、この町が選ばれよう、多くの人を引き付けるような町の魅力を掘り起こす必要がある。</p> <p>そのために、町は、空き家等の施策について、空き家の実態調査の結果を踏まえた上で既存制度が抱える課題を明らかにし、その改善策を示すとともに、適宜、周辺市町や県、民間との連携を図りながら、有効に機能させなければならない。また、行政主導の取り組みだけでなく、民間レベルでの多様な活動を喚起する支援を行うとともに、たとえばボランティアによる町の案内や美化・清掃等、町民との協働による活動を通じて、町を挙げた「おもてなし」の力を醸成し、この町を選んで来る人を迎える準備が必要である。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより生まれた町の魅力を、従来の方法にとらわれず、自ら進んで発信することで、より多くの人々に「住んで良かった」を実感してもらえ、ことに繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」については、外部評価の意見等を踏まえ、目標達成に向け、一部、施策の見直しを行う。</p> <p>人口減少・少子高齢化が進行する中、この町の地域の活力を維持するためには、観光客をはじめとした交流人口及び世代循環を可能とする定住人口の増加が不可欠であるが、この町の知名度は決して高くないのが現状である。</p> <p>そこで、町は、この町の知名度とイメージの双方の向上により、新しい人の流れをつくるため、シティセールスの担い手である町職員一人ひとりの自発的な取り組みを促すとともに、組織横断的な連携による戦略的なシティプロモーション活動を展開する。また、新たな試みとして、町民目線でこの町の魅力を掘り起こし、それを発信する町民主導型のプロジェクトを発足し、従来の行政主導型の活動との両輪で町の認知度の向上を図る。同時に、定住促進を目的とした空き家等をはじめとした各種支援制度が抱える課題を明らかにし、有効に機能させるための見直しを行う。さらに、行政だけでなく、町民や民間事業者等、協力の輪を広げ、町の魅力向上や町民一人ひとりの「おもてなし」力の醸成等、受け入れ環境の充実を図る。</p> <p>こうした取り組みを推進することにより、多くの人から「選ばれる力」を高め、交流人口及び定住人口の増加を図るとともに、これを地域の持続的発展に結び付けることで、数値目標である「二宮町の人口」及び「二宮町の社会移動数」の目標値を達成し、「二宮町人口ビジョン」の実現を目指す。</p>
-----	---